

## 業連だより

9月6日に北海道胆振東部で大規模地震が発生した。被災者の皆様に心からのお見舞い申し上げますとともに、災害派遣に任ずる自衛隊員の献身的活動に敬意を表します。

9月13日、業務連絡会議が開催された。森理事長から「北海道で地震があった。地震の予知は難しく、被災者は茫然となってしまう。自衛隊がそこにいることで国民への力付けになり、隊員は頼もしい活動をしている。マスコミは自衛隊員への労いも忘れないでほしい」との言葉があった。

白石副理事長から「将来検討委員の検討事項」について報告があった。今月は法人会員の入会促進について議論を進め、具体策について検討した。若木事務局長から、8月24日DR Cの案内による台湾国防省軍事情報関係者の借行社表敬訪問について報告があった。理事長から、台湾との交流は現職にはなかなか難しい。OBによる交流のため「桜梅会」ができたと紹介された。

若木事務局長から、平成30年度全

国会長会同及び借行社総会実施計画について報告があった。会長会同では当初地域ごとのブロック会議を実施し、次いで全体会議を行う。参加予定者は事務局関係者も含み約70名。借行社と各地借行会との関係、協力内容などを議論する予定。

総会は10月12日予定し、陸上幕僚長山崎幸二陸将の講演を予定している。

吉橋厚生委員長から、8月18日土曜日談話室で実施した「第12回いざ唄わんかな」について報告があった。参加者は会員を中心に50名、盛会裏に終り、今後とも計画する。

若木事務局長から、総理府への事業報告のうち会計報告に関し公認会計事務所アダムスと契約したことについて報告があった。

火箱安全保障委員長から、3月のシンポジウムについて報告があった。基調講演者は三浦瑠璃氏に依頼、内諾を得た。

加賀谷近現代史研究委員長から、8月のセミナー及び年度末のシンポジウムは、大東亜戦争80周年に向け中期的にテーマを決めていくと報告があった。